

絵本の研究 (一)

お茶の水女子大学幼児研究会

最近、外国でも、わが国でも、幼児のためのよい絵本が数多く出

版されるようになりました。絵本は、子どもに、何回も、何十回も、くりかえしてひろげられ、暗記するまでよんでもらうもので、

その内容は、しらすしらすのうちに、子どもの血となり肉となつて吸収されてゆきます。それだけに、絵本は、文化的に最高のものを与えなければなりません。それだけでなく、幼児のための絵本は、幼児に好まれなくては、どんな芸術作品でも、幼児の生活とは無関係になつてしまいます。

私どもは、この研究で、第一に幼稚園では現在、どのような絵本が教材としてとり扱われており、また、子どもはどのような絵本を好んでみるかという実態を知りたいを試みました。そして第二に、いろいろの絵本について(主として、単行本)幼児はどのような点に関心をもつてみるかを知らうとしました。

第一章 幼稚園における絵本

この章では、研究の第一段階として、幼稚園における絵本の実態を、調査および実験によつて調べ、それを報告します。

調査および実験の内容は

- (一) 幼稚園では、現在、絵本がどのように取り扱われているか。また、保育者は、絵本について、どのように考えているか。
- (二) 絵本に対して、幼稚園児は、どのような興味と反応を示すか。であります。

(一) 実態調査

〈目的〉

現在の、幼稚園における、絵本教材の取り扱い方、および、保育者の考え方、を知る。

〈手つづき〉

方法は、アンケート用紙（内容は後述）とインタビューによる。

対象は、都内および近郊の4園、8先生でその先生方はいずれも、実際に保育にたずさわっておられる。

アンケートの調査内容（要約）

- 1 現在保育室にある絵本
- 2 その中で、子どもが特に好んで見る本
- 3 保育場面での絵本の取り扱い方
- 4 絵本の役割として、保育者が考えるもの
- 5 保育者の選ぶ良書の条件
- 6 購入の方法

〈結果〉

1 現在保育室にある絵本、絵雑誌

定期刊行の絵本では、キンダーブック、チャイルドブック、ひかりのくに、よいこのくに、などが4園ともにあげられている。

単行絵本としてあげられたものは、次のように分類される。

①ストーリーの無い絵本

「のりもの」「どうぶつのおかあさん」「おあそび」など。

（小学館の絵本、ますみの絵本、トッパンの絵本 他）

②物語りの絵本

世界の名作、民話、昔話など。（講談社の絵本、トッパンの絵本 他）

本 他）

③子どものための創作絵本

「どろんこハリー」「きかんしゃやえもん」など。（福音館こ

どものとも、岩波こどもの本 他）

④教具的な絵本

「かずのほん」「あいうえおのほん」など。

⑤科学の本

科学雑誌、図鑑など。

以上のうち、①②⑤は各園で共通に見られるが、③④に関しては共通性が無い。

2 子どもが特に好んで見る本

子どもの好む本としてあげられた絵本を、前問の単行絵本の分類にあてはめてみると、次の通りである。

①ストーリーの無い絵本→なし

②物語りの絵本→「舌切り雀」（講談社）

③子どものための創作絵本→「どろんこハリー」（福音館）「ぞ

らいろのたね」（福音館こどものとも）「いたずらこねこ」（福

音館こどものとも）「ひとまねごさる」（岩波こどもの本）

④ 教具的な絵本 → なし

⑤ 科学の本 → 幼児百科 (学習研究社)

3 保育場面での絵本の取り扱い方

① 自由あそびのときに見る。

・ 子どもたちが各自、自由に見る。

・ 子どもから要請があった時には、教師が読んできかせる。

・ ままごとあそびのおみやげにすることもあつた。

② 誘導として (季節の行事、社会的なできごとなど)

・ 机の上にひろげておく。

・ 掲示する。

③ 全員で見る。

・ 紙芝居風に、教師が読んできかせる。

・ 園でまとめてとっている各自の月刊絵本を、全員で同時に見る。(その後、他の活動に発展させることもある)

④ 静かにするときに見る。

・ 製作などを早く終えた子どもが、全員が終るまで待っている必要のある時に見る。

・ お弁当のあとや激しい運動のあとなど休息の必要な時に見る。

以上の通りであるが、③の扱い方は他の用い方にくらべて、比較的少い。

4 絵本の役割として、保育者が考えるもの、回答に見られた保育

者の考えは、次の通りである。

① 読書への媒介として、文学に親しませる。

・ 物語りを知る。

・ 紙芝居から読書への媒介となる。

② 言語活動をのばす。

・ 言語活動をあそびの中に取り入れる。

・ 文字、ことばへの興味を育て、語いを豊かにする。

③ 情操を豊かにする。

・ 情感を育てる。

・ 幼児の世界に夢を与える。

④ 創造性をのばす。

・ 創造力を育てる。

・ 色彩感を育てる。

⑤ 科学心をのばす。

・ 観察面の補いにする。

・ 直接経験できないことを、間接的に知らせる。

・ 知識欲を満たす。

⑥ 社会性をのばす。

・ 共通の話題を提供し、交友の潤滑油とする。

・ 絵本を通じて、幼稚園生活に慣れさせる。

・絵本の選択、管理を通して、自発心を養う。

・自分たちで破損か所を修理することによりていねいに物を扱う習慣をつける。

5 保育者の選ぶ良書の条件

アンケートの回答者全員が挙げた条件は、「発達に即している」ということであり。そのほかに挙げられた条件をまとめると、次のようである。

① 全体的な内容について

- ・豊かな感情のこもったもの。
- ・内容が一貫したもの。
- ・明かるく、恐怖心をおこさせないもの。
- ・内容に理想があるもの。
- ・子どもの興味に即したもの。
- ② ことばと字について

- ・ことばが、詩のように雰囲気を持ったもの。
- ・字が大きく、読みやすいもの。
- ・字の場所に配慮されているもの。

③ 絵について

- ・色彩が明かるく、はっきりしたもの。
- ・配色に留意されているもの。
- ・要所をはっきりと表現しているもの。

・子どもが想像で充分に筋が追えるような、絵であること。

・小さい年令では、物に即した絵であること。

・中途半端な抽象画でないもの。

④ その他の条件

- ・絵が多く、文章の少ないもの。
- ・外観が粗末でないもの。
- ・製本のしっかりしたもの。
- ・紙質、印刷のよいもの。
- ・手ごろな価格であること。

6 購入の方法

購入法に関しては、4園ともほぼ同じで、

定期刊行絵本は、出版社と契約して求める。

単行絵本は

- ・保育者が随時、店頭で良書をさがす。
 - ・パンフレットの案内を見て、注文する。
 - ・新聞雑誌の広告を見て、注文する。
 - ・販売員の持参する見本を見て決める。
- というような方法が、あげられている。

(二) 実験

1 興味に関する実験

表1 絵本(16冊)にかんする園児の好み一覽表

最も面白く 挙手した人数	順位		本の名まえ	著者	出版社
	(人)	I位			
20	1	I	ひとまねごころ	エツチ・A・レイ	岩波(訳本)
12	2	II	けいてい	バートン	福立(訳本)
9	3		きかんしゃ	石井桃子	岩波(日本語)
7	4		こねこのびつ	阿川岡部	岩波(日本語)
6	5		フランスのお	フィッシャー	岩波(日本語)
3	6		あいうえおの本	Lavaivre	岩波(外国語)
1	7	III	どろんこハリー	グレアム・ロビンソン	福立(日本語)
1			大きなかぶ	わたなべ	福立(日本語)
1			いたずらちゅう	藤田文	福立(日本語)
1			指太郎	佐藤トシ	福立(日本語)
0			あまがさ	E・P・Robest	福立(外国語)
0	最下位	IV	おそばのき	ヤシマ・タロ	福立(日本語)
0			はなせあかい	やうほん	岩波(日本語)
0			look Agin	Brownner	岩波(外国語)
0			shape sizo	Kohn	岩波(日本語)
0			ドイツの	Kohn	岩波(日本語)
0			Shellen ursli	chönz	岩波(独)

計61人(1人1度だけという指示が完全でなかった
ので、園児数より多くなったものと考えられる)

目的—よい絵本の一条件として欠かせない絵本に関する幼児の興味(「どんな本を好むか」)を調らべ、幼児の興味にあった絵本の要素を分析・考察するための手がかりをつかむ。
対象—年長児一クラス(51名(於、川崎市内私立S幼稚園))
方法—調査日時は、本年三月九日の朝、(八時半~九時半)
・手続きは、左の一覽表に示す16冊の絵本を、登園より朝のお集まりまでの一時間、保育室の一隅(机上)に置く。自由に読んでよいということを知らせる。この保育室には、他

の絵本は、もともと一切おいてない。どの本を好み、どの本を好まないかを、本を中心にしたソシオメトリックな着眼で観察・記録する。一時間経過後、16冊の本が、全員に見えるようサイド黒板に一列にならべ、一番おもしろかった本はどれだったかを訪ね、一人一度手をあげてもらう。

結果—経過の観察・記録は絵本の分析(第二章)の資料に適用し、ここでは挙手による園児の好みの結果だけを一覽表にまとめる。(表1)

結果の考察—結果の数字(人数)は、(調査の不備から重複があるが)明らかな興味の傾向を示していると思われる。すなわち、つぎの3点にまとめられる傾向である。

1 I位の「ひとまねごころ」は、61の挙手人員中、20人まで、これを好んでいるので、この本の中には、何か幼児の興味に合った要素があるものとみられる。

2 最下位(IV位)で誰からも一番おもしろいと言われなかった群の絵本には、何か、幼児の興味に合わない要素があるのではないかとみられる。

3 II位・III位群の絵本に対しては、ある子は興味を示すが、またある子は示さない。すなわちこの群の絵本は一般的に好まれ方をしていない。それだけに子ども個人の個性との関係が、より考慮される必要のあるものとみられる。

おわりに、この調査が、「なぜⅠは多くの幼児に好まれ、Ⅲは好まれないのか、幼児の興味に合うという絵本の要素は何なのか」を考察する上の一資料となれば幸いに思います。

2 絵本の与え方と子どもの反応に関する実験

〈目的〉

保育室に新しい絵本を備える時、あらかじめ保育者が読んできかせてから子どもに与える場合と、何もしまままに与える場合とは、その本に対する子どもの態度にちがいが見られるであろうか。

また、ちがいがあるとすれば、それはどういう形でてくるものであるか、の各点を明らかにする。

〈対象〉

横浜市内の私立O幼稚園 四才児2クラス

都内の私立G幼稚園 四才児1クラス

都内の私立F幼稚園 四才児1クラス

〈実験期日〉

O園 本年一月二三日～二四日

G園 本年二月一八日

F園 本年二月二日

〈実験材料絵本〉

『どろんこハリー』(福音館)

ジーン・ジオン

『大きなかぶ』(こどものとも74号) (福音館)

ロシア民話 内田莉莎子訳

『もりのなか』(福音館)

マリー・ホール・エッツ、まさきるりこ訳

『こねこのびっち』(岩波のこどもの本)

ハンス・フィッシャー

『THE HAPPY DAY』(米園)

Ruth Krauss Marc Simont

『THE BIRTHDAY PRESENT』(米園)

Bruno Munari

〈方法〉

対象とするそれぞれのクラスにおいて、数冊の材料絵本を、そのうちの半数はあらかじめ一斉に子どもに読んできかせ、残りの半数は何もしないままに、保育室内の絵本の棚に既存の絵本とまぜてだしておく。そして、自由あそび場面などで、子どもが自発的にその材料絵本を見ようとした時に、その行動の経過を観察し、記録して資料とする。

〈結果〉次頁の表。

〈結果の考察〉

・あらかじめ読んでから与えた絵本と、読まずに与えた絵本とは、子どもの反応数において、顕著な差が見られた園と差はあまり認め

<結果>

対象	与え方	絵本の名前	反応数	子どものすがた	
O 園 R 組	あらかじめ読んでから与えたもの	どろんこハリー	5	圧倒的に子どもの興味が集中し読む時の態度も音読、目読、読みながらの話し合いなどいろいろと楽しそうに見ている。文章がやさしくおもしろいので字の読める子どもが音読したり、また絵を楽しんだりしている。	
		大きなかぶ	3		
	読まないで与えたもの	こねこのびっち	0		
		もりのなか	0		
O 園 P 組	読んだもの	もりのなか	2	かなりじっくり目読している姿が見られる。	
		こねこのびっち	0		
	読まなかったもの	どろんこハリー	2		バラバラとページをめくって絵をながめたり先生に「読んで」と頼んだりする。
		大きなかぶ	0		
G 園	読んだもの	どろんこハリー	2	特にひとりの男児が何度もくり返して1枚ずつページをめくり、ひとりごとを言いながら見て楽しんでいる。また一度読んでもらったことを忘れて再び先生に頼んで個人的に読んでもらった子どももいる。いずれの場合もバラバラとページをめくってみる程度で終わっている。	
		こねこのびっち	3		
	読まなかったもの	もりのなか	0		
		大きなかぶ	0		
F 園	読んだもの	どろんこハリー	3	ページを1枚ずつゆっくりめくって中の絵をながめている子どもが多い。表紙の題字を声を出して読んだ子どもはいるが、中の文章を音読した者はいない。1枚ずつページをめくってあっさりとの絵を見るだけである。はじめに読んできかせた時はよろこんでいていたが、観察中には反対は見られなかった。	
		もりのなか	2		
		大きなかぶ	0		
	読まなかったもの	THE BIRTHDAY PRESENT	5		
		THE HAPPY DAY	1		
		こねこのびっち	0		

註 表中、反応数とあるのは材料絵本を見ようとして、本棚から取り出した子どものべ人数である。しかし、多勢で一緒にのぞき込んで見た場合も、反応数は1であるから、実際にその本を見た子どもの人数はもっと多くなっている。

られない園が、半数ずつである。しかし、子どものすがたを見ると、字がまだ完全に読めない四才児では、あらかじめ保育者に読んでもらって、多少なりとも内容が理解されていた方が、たとえ絵をながめるだけにしても楽しんで見られるようである。

・いづれの園でも、読んだ読まないにかかわらず、「どろんこハリー」が非常に好まれている。

・下園において、「THE BIRTHDAY PRESENT」に対する反応数が非常に多いのは、比較的同時的な場面で子どもたちの興味を連鎖的にひろがったためである。